PARAMOUNT BED

取扱説明書

7F10286200A0

NN-2020 スマートハンドル

保証書付

まえがき

このたびは、**スマートハンドル（以下、ハンドル）**をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この「取扱説明書」には、**ハンドル**および**メーティス PRO シリーズベッド（KA-7＊＊＊0＊）のスマートハンドル接続ボックス（以下、接続ボックス）**を安全にお使いいただくための注意事項と取付方法などを記載しています。

- **ハンドルをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。**
- **この「取扱説明書」はハンドルと一緒に専用保管袋に入れた後収納ケースに入れて保管してください。**
- この製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合せください。

1. 使用目的

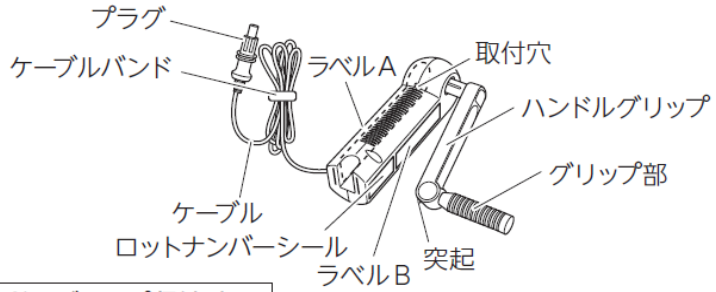
■**このハンドルは、災害などによる停電時・ベッドの故障（※1）などの緊急時やコンセントのない場所で、メーティス PRO シリーズベッド（KA −7＊＊＊0＊）の背ボトム・膝ボトムのあげ・さげ、高さのあげ・さげ操作を行うことを目的に作られています。（※ 2）。**

※ 1）故障内容によっては、ハンドルによる操作ができない場合があります。

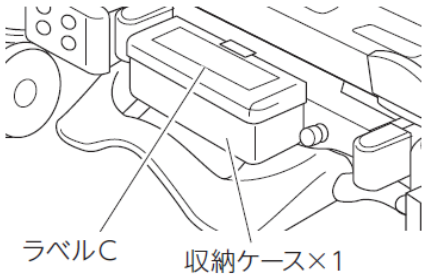
※ 2）上記目的以外で使用しないでください。

2. 各部の名称と部品の確認

■**開梱後、下記の部品がすべてそろっていること、破損していないことを確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、お買い上げの販売店または直接弊社までご連絡ください。**



スマートハンドル本体× 1



ハンドルグリップ収納時

取扱説明書× 1

専用保管袋× 1

パラマウントベッド株式会社

5. 安全に使用するための注意事項

⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ハンドル操作時は、周囲を確認してください

●ハンドル操作時に身体が周囲のものにぶつかり、けがをするおそれがあります。
●ベッドの動作によって周囲のものを破損させたり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。

■ハンドル操作時や取付け・取外し時にハンドルとハンドルグリップの間に手や指をはさまないよう注意してください

●けがをするおそれがあります。

■ハンドルが破損・変形した場合は、ただちに使用を中止してください

●けがをするおそれがあります。

■スプレータイプの殺虫剤をハンドルおよび接続ボックスに直接噴射しないでください

●殺虫剤に含まれる溶剤によって破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがありますので十分ご注意ください。

■ハンドルは磁力を帯びているため、データカードや磁気を利用したクレジットカードなどを近くに置かないでください

●データが消失したり、クレジットカードなどが破損したりするおそれがあります。

6. ハンドルの取付けかた

■ハンドル操作で、背ボトム・膝ボトムのあげ・さげ・高さのあげ・さげ操作ができます。

●手元が暗い場合は、明かり（懐中電灯など）を使用して作業環境を整えてください。

1. 作業の前に

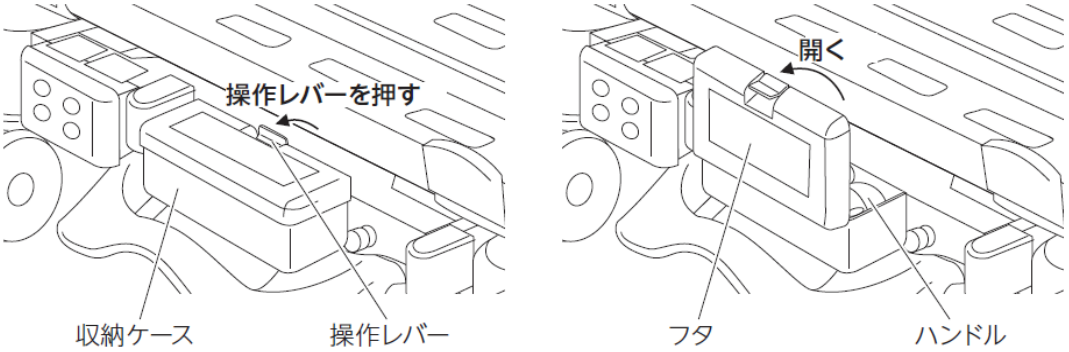
●ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。

2. フットボードの取外し

●ベッドの取扱説明書を参照して、フットボードを取外してください。

3. ハンドルの取出し

●収納ケースの操作レバーを矢印の方向に押しながら、フタを矢印の方向に開け、収納ケース内の専用保管袋からハンドルを取出してください。



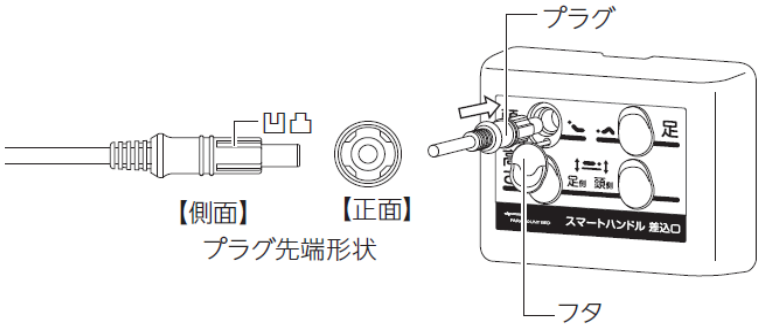
6. ハンドルの取付けかた

4. ハンドルと接続ボックスの接続

⚠ 注意

●接続ボックスのフタを強く引っ張らないでください。接続ボックスのフタが変形したり接続ボックスから抜け、破損したりするおそれがあります。

❶ハンドルのケーブルを束ねている、ケーブルバンドを外してください。
❷ハンドルで操作する部位（頭・足・高さ〔頭側・足側〕）の接続ボックスのプラグ差込口のフタを外してください。
❸フタを外した接続ボックスのプラグ差込口にハンドルのプラグの凹凸を合わせて差込んでください。

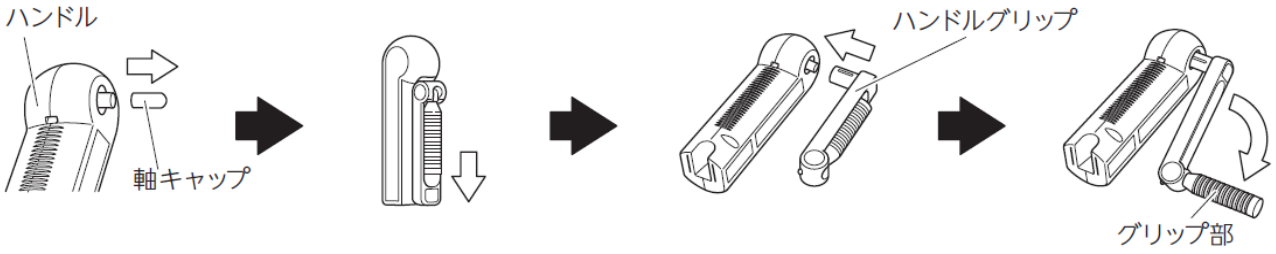


●接続ボックスの位置は本取扱説明書の 2 ページに記載されている＜接続ボックスの位置＞を参照してください。

5. ハンドルグリップの組立て

⚠ 注意

●ハンドルグリップを組立てる際は、ハンドルとハンドルグリップの間に手や指をはさまないように注意してください。はさまれて、けがをするおそれがあります。



❶ハンドルの軸キャップを取外してください。

❷ハンドルグリップをハンドルグリップ収納部から矢印方向に取外してください。

❸ハンドルグリップを少し回しながらハンドル本体の奥まではめ込み、「カチッ」という音を確認してください。

❹矢印方向にグリップ部を起こしてください。

●取外したハンドルの軸キャップは、紛失しないように保管してください。

7. 使いかた

⚠ 警告

- ハンドル操作時は、医師・看護する方および介護する方の監視下で行い、ベッドを使用する方を背ボトムと膝ボトムの間で圧迫しないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- ベッドの可動部でハンドルのケーブルをはさまないようにしてください。ケーブルが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- ハンドルのプラグは、弊社が指定する適合品以外には差込まないでください。指定以外の製品や他社製品と組合せるとハンドルグリップが不意に動作し、けがをしたり、ハンドルが破損したりするおそれがあります。
- ベッドが傾斜し、足側高さがさがっている状態で膝ボトムのさげ操作をする場合は、頭側高さのさげ操作でベッドを水平な状態にしてから、膝ボトムのさげ操作を行ってください。ベッドを使用する方がベッドから滑り落ちて、けがをするおそれがあります。
- ベッドの高さ操作を行うときは、ベッドの下に足を入れないでくさい。はさまれて、けがをするおそれがあります。ハンドルで高さ操作を行う場合、ベッドの手元スイッチでベッドの高さをさげたときに鳴る警告音が鳴りませんので、ご注意ください。
- ベッドの頭側をあげて傾斜させるときは、ベッドの高さを水平状態で31cm 以上にあげてから傾斜させてください。はさまれてけがをしたり、ベッドが破損したりするおそれがあります。
- ベッドの頭側をあげて傾斜させるときは、先に膝ボトムをあげてください。ベッドを使用する方がベッドから滑り落ちて、けがをするおそれがあります。
- 接続ボックスのプラグ差込口に、ハンドル以外のプラグを差込まないでください。ベッドが不意に動作してけがをしたり、ベッドが破損したりするおそれがあります。
- ベッドの電源プラグがコンセントに差込まれた状態で、ハンドルを使用しないでください。ハンドルグリップが不意に動作し、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

- 各部位の動作が止まったらハンドル操作はしないでください。各部位の動作が止まっている状態でハンドルを回し続けると、アクチュエーターおよびベッドが破損・故障するおそれがあります。
- ベッドを動作させる際は、各部位の動作範囲内で動作させてください。動作範囲を超えて動作させると、アクチュエーターおよびベッドが破損・変形するおそれがあります。動作範囲を超えた場合は、少し逆方向に戻してください。
  ※動作範囲は、ベッドの取扱説明書を参照してください。

- ベッドの動作方向とハンドルの回転方向については下記の<ベッドの動作方向とハンドルグリップの回転方向>を参照してください。
  ※ハンドルグリップの回転方向については、ハンドルに貼付の「ラベルA」にも記載しています。
- ベッドの高さ調節は、頭側高さと足側高さを個別に動かすことで調節できます。
- 使用後はハンドルを接続ボックスから外し、保管してください。正しい取外しかたについては、本取扱説明書の8ページに記載されている「ハンドルの取外しかた」を参照してください。

<ベッドの動作方向とハンドルグリップの回転方向>

ベッドの動作方向	ハンドルの回転方向（※ 1）
あげ（頭・足・高さ）	時計回り
さげ（頭・足・高さ）	反時計回り

※1）ハンドルグリップ側から見た回転方向

注記

- ハンドルグリップを回転させる速度が遅いと、ベッドが動作しない場合があります。回転速度の目安は、1秒間に2回転です。
- ベッド動作には空走（※2）があり、ハンドルグリップを回してもすぐにベッドが動作しない場合があります。
  ※2）ベッドが動作せず、アクチュエーターのみが動いている状態。
- 頭あげ・足あげ・高さあげ動作をする場合、使用者体重によってはハンドルグリップが重くなり、操作が困難となる場合があります。

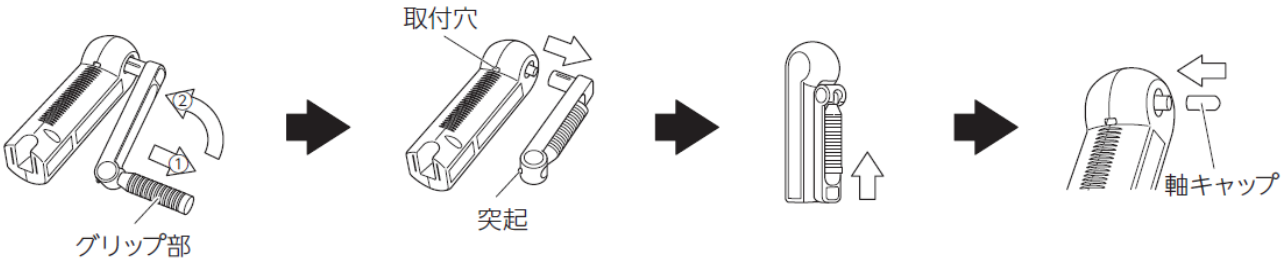
8. ハンドルの取外しかた

●ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。

1. ハンドルグリップの収納

⚠ 注意

●ハンドルグリップを収納する際は、ハンドルとハンドルグリップの間に手や指をはさまないように注意してください。はさまれて、けがをするおそれがあります。
●ハンドルグリップは正しく収納してください。正しく収納されていないとハンドルグリップが落下してゆかを傷つけたり、ハンドルが破損・変形したりするおそれがあります。



❶グリップ部を矢印①の方向に引張りながら、矢印②の方向に倒してください。

❷ハンドルグリップを矢印方向に取外してください。

❸ハンドルグリップの突起とハンドルの取付穴が合うように「カチッ」と音がするまで矢印方向にはめ込んでください。

❹ハンドルの軸キャップを取付けてください。

2. ハンドルと接続ボックスの取外し

⚠ 警告

●ハンドルを使用するとき以外は、接続ボックスのプラグ差込口にフタを取付けてください。プラグ差込口の表面にほこりが付着していると、水分を含んで電流が流れ、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。
●ハンドルのプラグを抜く際は、プラグ部分を持って抜いてください。ケーブルのみを持って引き抜くとケーブルが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

❶接続ボックスを押さえながら、接続ボックスのプラグ差込口からハンドルのプラグを持って抜いてください。
❷接続ボックスのプラグ差込口にフタを奥まではめ込んでください。
❸ハンドルのケーブルをケーブルバンドで束ねてください。
❹ハンドルを専用保管箱に入れ、収納ケースに収納してください。

3. フットボードの取付け

⚠ 警告

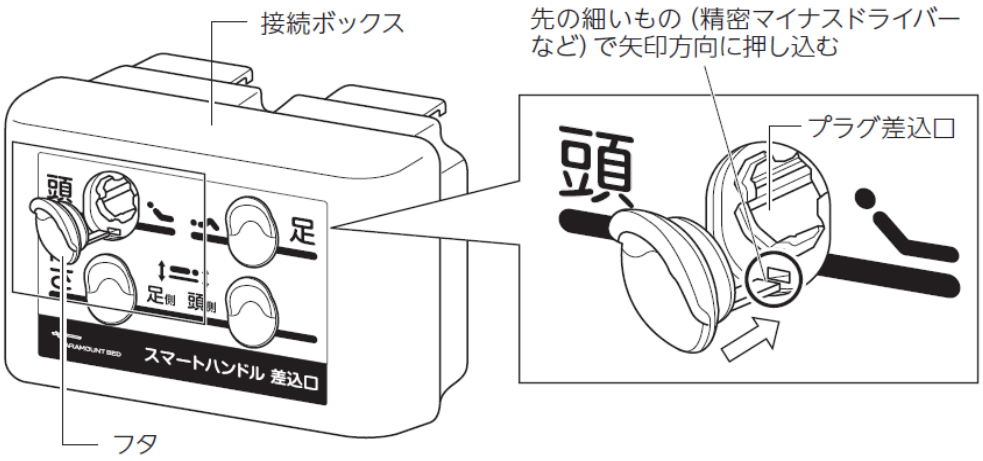
●ハンドルのプラグが接続ボックスから抜かれていることを確認してください。プラグが接続されたままフットボードを取付けると、ケーブルが破損し、感電・火災のおそれがあります。

●ベッドの取扱説明書を参照して、フットボードを取付けてください。

9. 接続ボックスのフタが外れた場合

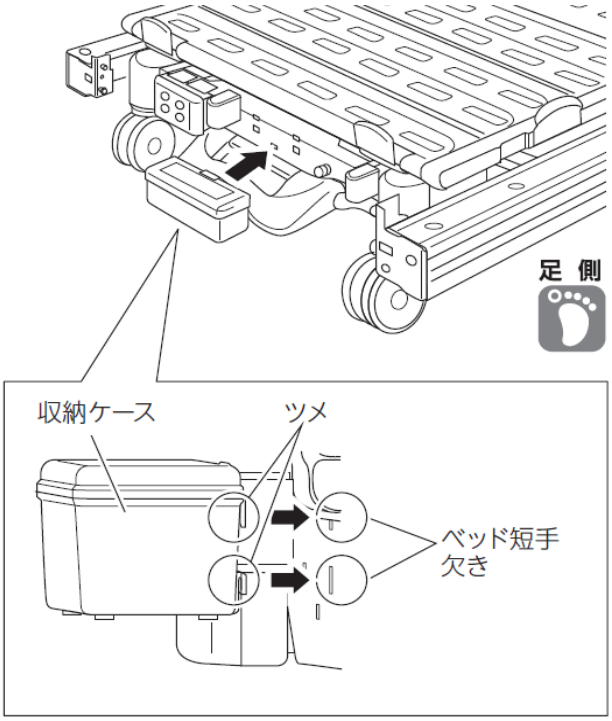
フタの取付け

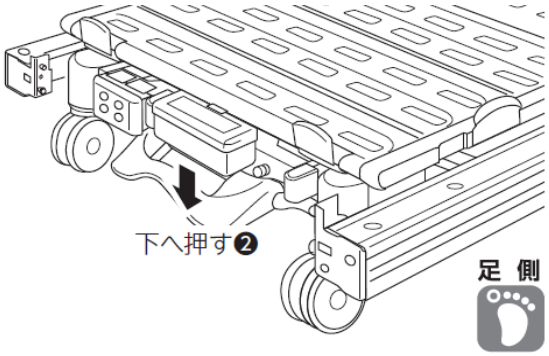
●接続ボックスのフタが外れた場合は、フタの丸印の部分を先の細いもの（精密マイナスドライバーなど）で矢印方向に押し込み、差込んでください。



10. 収納ケースの取付け・取外し

【取付方法】



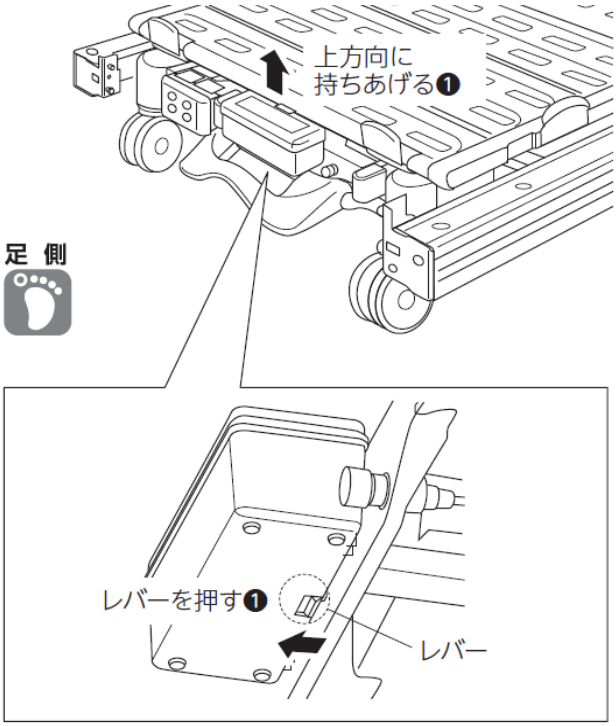


❶収納ケースのツメを足側ベッド短手の欠き部に入れてください。（4ヶ所）
❷収納ケースを「カチッ」と音がするまで下へ押してください。

注記

●収納ケースの取付け後、左右へ軽く押し、 確実に取付いていることを確認してください。

【取外方法】



❶収納ケース下部のレバーを押しながら、収納ケースを上方向に持ちあげてください。